

津消防タイムズ

第 15 号

発行 津市消防本部
〒514 4101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059 254 0353
FAX 059 256 7755
協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
224-1881
救急医療情報案内
256-1199

宿泊客を火災から救え!

榊原温泉施設で消防訓練



逃げ遅れ者の救出と消火活動を行う消防隊員

宿泊客の避難誘導など 災害に備えて手順を確認

二月一日からの春の火災予防運動期間を前に、榊原温泉組合(小瀬古元組合長)と当消防本部(中消防署、久居消防署、白山消防署)は、二月二十八日に、榊原町の温泉施設「湯元榊原館」で約七十人が参加し消防訓練を実施しました。

訓練は、夜間に宿泊施設三階の客室から出火し、上層階に延焼拡大したという想定で始まりました。温泉施設の従業員が消防へ一一九番通報後、速やかに大半の宿泊客を屋外へ避難誘導しましたが、七階の客室から数人の逃げ遅れた客が手を振って救助を求めていました。

通報から約七分後に、はしご車などの消防車が到着し、七階に取り残された宿泊客に飛び降りなどの制止を行いながら、要救助者を救出しました。

また、はしご車で救出された要救助者は、応急救護仮設テ



様々な情報収集を行う久居署指揮隊



負傷した宿泊客が運び込まれる応急救護所

トに搬送されて応急手当を受けました。

その後に、火災の早期発見及び初期消火の重要性について使った職員の説明に続き、参加者全員が真剣な表情で水消火器による消火方法を学んでいました。

訓練終了後、野田重門消防長は、「本日の訓練を基に、日常の訓練は本番さながらに行い有事の際は、日常の訓練のように冷静かつ迅速・的確に行動して下さい。」と講評していました。この榊原温泉組合では、毎年、各宿泊施設を輪番制にして、消防訓練を実施し、有事に備えています。



初期消火の重要性を説明する消防本部職員